23. 祈り Prayers

ほかの人の愛と祈りを邪魔してはいけません。自分は愛し方を、あるいは祈り方を知っているという考えを落としなさい。
人がどのように愛し、どのように祈っていても、その人にとってはそれは完全なのだと、ほかの人びとをただ尊敬することです。

モーゼはあるとき祈っている人に出会った。だが、その人がばかげた祈りを唱えていたので、モーゼは立ち止まった。しかもばかげているだけでなく、その祈りは神を侮辱もしていた!

その人はこう言っていた。「神さま、もっと近くに寄らせてください。そうしていただければ、あなたの身体が汚れているときには洗ってさしあげましょう、それをお約束します。もし、しらみがいたら取ってさしあげまし

モーゼは叫んだ。「やめなさい! そんなナンセンスはやめなさい! いったいなにを言っている? 神の身体にしらみがいるだって? しかも、彼の服がよごれているからお前がそれを洗うだって? しかもお前が彼の料理人
その男は言った。「どこからも習いませんでした。私はとても貧しくて、しかも教育を受けていない人間です。それに、私は自分が祈り方を知らないのをよく知っています。自分で作りあげたのです……こうしたことが
それが祈りになりました。でも、もしあなたが正しい祈りをご存知なら、どうか教えてください」

そこでモーゼは正しい祈りを彼に教えた。その男はモーゼにひざまづき、彼に感謝した。その目には深い感謝の涙が流れていた。彼は去り、モーゼはとても幸せだった。善い行いをしたと思った。このことを神がどう思った

ところが、神は非常に怒っていた! 神は言った。「私は、人びとをわたしのもとにもっと近づけるためにお前をそこに送ったのだ。だが、お前はいま、私の最も偉大な恋人たちのひとりを放り出した。よいか、お前が彼に

そして、愛とともに恩恵が起こる。そして、愛とともに真理が。

覚えておきなさい。もしあなたに真理を理解することができたら、真理は解放する。そしてほかに解放はない。
COME FOLLOW ME, Vol.1, pp.25-28

Revision #4
Created 4 October 2024 06:03:00 by ゆう
Updated 24 October 2024 06:51:13 by ゆう